



東地中海地域ニュース

シリア・イラン： イラン大統領のシリア訪問 (7月19-22日付現地報道)

1. アフマディネジャード・イラン大統領は7月19日シリアを訪問し、同国のアサド大統領と二国間関係、地域情勢、国際情勢などに関して会談した。又、イラン大統領はシリア滞在中に、在ダマスカスのパレスチナ諸派並びにシリアを訪問したレバノンのナスラッラー・ヒズボラ書記長とも会談を行った。

2. イラン・シリア軍事協力 (7月21日付「ハーレツ」紙、「シャルクル・アウサト」紙)
 - (1) シリアは、400両のロシア製戦車、180機のMig-31、その他の近代装備の購入を計画している。アフマディネジャード大統領はシリアで、「シリアがイスラエルとの和平交渉から手を引くならば、イランは武器購入資金10億ドルを提供する」と約束した。又、同大統領の訪問時に、両国は軍事、経済、科学技術各分野での戦略的協力に関する合意が成立した。軍事分野では、シリアがMig-31戦闘機、Su-24攻撃機、T-72戦車をロシアから購入する資金、シリアの原子力、化学兵器研究開発をイランが援助することとなった。これらに加え、イランは、シリア国内の中距離ミサイル製造工場建設、イラン国産の装甲車、戦車及び艦船搭載ミサイルの提供も約束され、既にシリア海・空軍の軍人がイラン国内での訓練に招待されている。
 - (2) これに関してイラン外務省の報道官は22日の記者会見で、事実と反すると否定し、シオニスト国の新聞報道は、イラン・シリア両国の良好な関係をターゲットとしたメディアによるプロパガンダであると述べた。

3. イラン大統領とヒズボラ及びパレスチナ諸派との会談
 - (1) アフマディネジャード・イラン大統領はヒズボラのナスラッラー書記長とシリア大統領官邸で会談し、イランは今後ともレバノンに向けられた敵対主義計画に立ち向かう抵抗運動への支援を約束した。
 - (2) 同大統領は、マシュアル・ハマス政治局長、シャラハ・イスラミック・ジハード書記長などの在ダマスカス・パレスチナ諸派の代表と個別に会談した。更に、ハマス、イスラミック・ジハードに加えて、PFLP, PFLP-GC, DFLP等を含めたパレスチナ諸派拡大会合にも出席した。